

# 関西広域農林水産業ビジョンのポイント

## 関西農林水産業の現状認識

【現状と特徴】		
多様な農林水産物	歴史と伝統ある食文化	大消費地が内在
【課題】		
所得の減少、不安定化	就業者の減少、高齢化	生産基盤の弱体化

## 関西農林水産業が目指す将来像(20~30年後)

歴史と伝統ある関西の食文化を支える農林水産業	異業種と連携した競争力ある農林水産業	都市と共生・交流する活力溢れる農林水産業・農山漁村	多面的機能を発揮する関西の農林水産業・農山漁村
<ul style="list-style-type: none"> <li>食文化は関西のアピールポイント</li> <li>多様な農林水産物の域内外への供給を強化・拡大</li> <li>食文化の海外発信により需要を拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工業や医療・福祉等、多様な産業との連携</li> <li>大学等研究機関との連携</li> <li>6次産業化の推進</li> <li>企業等の参入促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直売所やマルシェ、観光農園、農家民宿等により安全・安心な食材提供</li> <li>グリーンツーリズムや市民農園等の推進</li> <li>都市部からの移住・定住</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水源かん養、国土保全、景観形成等、様々な役割</li> <li>都市農業においては緑地空間の提供等</li> <li>多面的機能は都市を含む全ての住民が享受</li> </ul>
関西の食文化と域内外の消費を支える農林水産業へ	付加価値の高い商品開発や国内外への販路拡大へ	都市と農山漁村が互いの魅力をかち合う関係へ	府県市民が多面的機能の認識を共有し、基盤の保全へ

## 将来像の実現に向けた6つの戦略(今後10年)

<b>戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大</b> 食育による啓発、学校給食での利用促進、直売所間の連携促進等により、エリア内農林水産物の広域圏内での消費拡大を推進
<b>戦略2 食文化の海外発信による需要拡大</b> 観光・文化振興分野と連携し、食文化と農林水産物をセットにしたプロモーション、訪日外国人を農山漁村に誘致すること等を通じ、関西食文化とそれを支える農林水産物の素晴らしさをPR
<b>戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大</b> 広域内の高品質で競争力ある農林水産物と加工品について、スケールメリットを活かした効果的な情報発信、プロモーションにより、国内外に販路を拡大
<b>戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化</b> 府県市域を越えた農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等により、6次産業化、農商工連携をすすめて、域内農林水産物を活用した新たな商品開発と販路開拓を促進
<b>戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保</b> 農林水産業に関する就業相談会、各府県農業大学校の連携、林業大学校の広域での活用等により、後継者はもとより、都市住民の新規参入、法人経営体への就業促進等、多様な就業者を育成・確保
<b>戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全</b> 農山漁村の魅力や多面的機能のアピール、市民農園等のあらゆる空間での実践の促進により、食と農林水産業への理解の醸成、都市と農山漁村の交流等につなげ、農山漁村の活性化・多面的機能の保全

## ビジョンの実現に向けた関西広域連合と構成府県市の役割

戦略の推進にあたっては、関西広域連合はシナジー効果が見込まれる事業など、その枠組みにおいて実施可能な範囲で役割を果たし、各地域の特徴・実情を踏まえた事業は個々の構成府県市が取り組む